

緯未終卷調度文書等投入御壺中起座猶不堪忿怒於西侍自取刀除髮吐詞云殿乃御侍倍登天利云
云則走出南門不及歸宅逐電將軍家殊令驚給

〔沙石集三下〕嚴融房與妹女房間答事

中比甲斐國ニ嚴融房トイフ學匠有ケリ修行者オホク給仕奉事シテ學問シケリアマリニ腹ア
シキ上人ニテ修行者共時非時サバクリカヨウスルニ湯ノアツキモヌルキモシカリヲソキヲ
モ腹立疾モテキタレバ法師ニ物クハセジトスルカトテクヒサシテ打置テシカリケリ其アハ
ヒヲ見ントテ障子ヒマヨリノゾケバアレハナニヲ見ルゾトテ彌ヨ腹立ケレバ常ニハ心ヨカ
ラズノミ有ケレドモヨキ學匠ナリケレバ忍テ學問シケリ妹ノ女房略○中トバカリ有テ涙ヲシ
ノゴヒテ抑人ノ腹立候事ハアシキ事カ又クルシカラヌ事カトイヘバソレハ貪瞋癡ノ三毒ト
テ宗トノ煩惱ノ一ナリ疑ニヤヲヨブオソロシキ過也トイフ時ナドサラバソレホドニ御心得
アルニ御ハラハアマリニアシキゾトイフニハタトツマリテイヒヤリタル事ハナクシテヨシ
サラバイカニモ思サマニナダキ給ヘトテシカリテ出ニケリ誠ニツマリテケリ

〔徒然草上〕高野證空上人京へのほりけるに略○中口ひきける男あしくひきて聖の馬を堀へおと
してけりひじりいと腹あしくとがめて略○中比丘を堀にけ入さする未曾有の悪行なりといは
れければ口ひきの男いかに仰らるゝやらんえこそ聞しらねといふに上人猶いきまきて何と
いふぞ非修非學の男とあらゝかにいひて略○下

〔總見記二〕武藏守殿信行生害事

津々木連日何事ヲカ讒言シタリケン信行柴田ニ詞ヲモ掛給ハズ勝家ハ心中蒸ガ如ク腹立ケ
レドモワザト顔色ニ不出サ居ケルガ心安キ朋友ノ手ヲ取テ我が眼ノ上ヲ探ラセケルニ眼ノ
上サナガラ猛火ノ様ニ熱シケル